

高島市の交通安全対策

高島市は人口1万人当たりの事故発生件数が県内で最も少ない安全なまちですが、昨年、市内で発生した交通事故のうち高齢者が関係する事故が全体の41.2%と県内でも最も高い割合となりました。

こうした結果を踏まえ、市役所や警察署をはじめとした交通安全関係団体で構成する「“セーフティーたかしま”交通安全推進協議会」として、交通事故ゼロのまちを目指し、以下の高齢者交通安全教育をはじめとした様々な事業に取り組んでおり、その一部をご紹介します。

☆高齢者交通安全教育☆

☆春および秋の全国交通安全運動出発式☆

【高齢運転者事故防止講習】



滋賀県警察本部にご協力いただき、今年から県警に導入された「出前型運転者危険予測トレーニング装置（KYT）」を使用した高齢運転者事故防止講習を実施しました。

講習では自動運転する車両映像を見ながら、あらかじめ設定された現実が発生しやすい事故（飛び出しや右直事故など）を道路状況から早期に危険予測できるかを測定しました。この講習を通して日常での危険予知能力の向上に努めました。

市内で発生する交通事故のうち、「出会い頭事故」が最も多く、交差点進入時に一旦停止をせず安全確認が不十分なまま進入することにより発生しています。特に高齢ドライバーがその傾向にあります。

こうしたことから、協議会では高齢者がたくさん集まるグラウンドゴルフ大会などに出向き、交通安全出前講座を実施し、交通安全意識の高揚を図っています。



【全国交通安全運動出発式】



【高齢者向け出前講座】

全国交通安全運動期間に合わせ、「全国交通安全運動出発式」を行いました。

出発式は春と秋に実施し、会場の道の駅藤樹の里あどがわに來訪される方に交通安全の啓発活動を行いました。

また、高島市在住の歌手「りりかる＊ことばお」さんが一日警察署長としてパトロール車出発の号令を行いました。